

藤野地区町内会連合会

# ルピナス 230

第108号

令和2年11月1日(日)



藤野地区町内会連合会 副会長 阿部 孝司

## コロナウイルスとの戦い

コロナウイルスの感染が、世界的大流行によって日々の生活まで変える事態が続いて一年近くなろうとしています。

各国は、競つてワクチンの開発に取り組んでおりますが、まだ特効薬の開発には至っていない状況で、とりわけ大国と云われる国の指導者は、政治的な思惑も相まって、安全性の確認も担保できないワクチンを販売すべく競っています。

これから冬季間に入ると、インフルエンザの対応にも気を付ければならないなど、一年中ウイルスに振り回されようとしています。

地球温暖化によると思われる自然災害も「これまで経験したことの無い」災害として起きているのは、多くの専門家が警鐘を訴えています。

札幌においては、これまで自然災害による被害が比較的少ない状況ではありますが、本州においては「これまで経験したことの無い」との報道を何度も耳にしたことか、自然災

害により多くの犠牲者や被害に見舞われた年もあります。

このような状況にあって、コロナウイルス感染拡大によって北海道だけでも、十月二十日現在二、五〇〇人を超える感染者が出ており「三密」「外出自粛」などの制限によって爆発的な感染拡大には至つておりますが、あらゆる産業が移動制限などによって打撃を受けており、正常に戻るにはかなりの年月が掛かると云われています。

私どもの町内会活動も多くを中止せざるを得ない状況になり大変残念であります。が、各種活動にご協力いただいております役員・会員の皆さんには、来年こそコロナ騒動が終息して通常の活動ができるることを願うばかりです。

コロナウイルスの感染は、個々の意識が感染を最小限に食い止めると思いますが、皆さんと共に正常な活動が出来るまでがんばりましょ



## 令和二年度 地域功労者 市長・区長 表彰受賞者

長年にわたり町内会活動に尽力された方々に対する地区功労者表彰が八月三日（月）に藤野地区センターで行われ、藤野地区からは五人の方が表彰を受けました。表彰を受けたのは、札幌市長表彰の小田勝義さん、区長表彰の田中一男さんら四人で、大平英人・札幌市南区長から感謝状が伝達、贈呈されました。



小田 勝義 さん

『市長表彰』  
**小田 勝義 様 (おだかつよし)**

平成二十二年四月

（平成二十七年三月）

藤野地区町内会連合会会計部長

平成二十七年四月

（令和二年三月）

西藤野町内会会长



石山 神日 さん

『区長表彰』  
**石山 神日 様 (いしゃましんいち)**

平成二十五年四月

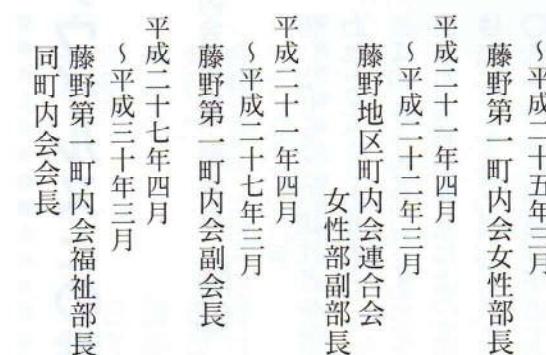
（平成三十年三月）

藤野緑町町内会副会長兼総務部長

平成三十年四月

（令和二年三月）

藤野緑町町内会会长



この表彰は、例年五月に行われる連合町内会の定期総会時に行われましたが、今年は新型コロナウイルスのため総会が中止され、贈呈式も繰り延べになっていました。表彰された方々は次の通り。



菅野 晓子 さん

『菅野 晓子 様 (すがのあきこ)』

平成二十一 年四月

（平成二十二年三月）

藤野第一町内会連合会女性部副部長

平成二十二年四月

（平成二十七年三月）

藤野第一町内会副会長

平成二十二年四月

（平成二十七年三月）

藤野第一町内会福祉部長

平成二十三年三月

同町内会会长

平成三十年三月

藤野第一町内会福祉部長

同町内会会长

**田中 一男様** (たなか かずお)

平成二十五年四月  
～平成三十年三月

藤野中央町内会会長

平成二十五年五月  
～令和元年四月

藤野地区町内会連合会理事

平成元年五月  
～令和元年九月

藤野地区町内会連合会副会長



田中 一男さん

**横山 彦之様** (よこやま ひこゆき)

平成十四年四月  
～平成二十四年三月

西藤野町内会会計部長

平成二十五年四月  
～令和二年三月

西藤野町内会副会長



横山 彦之さん

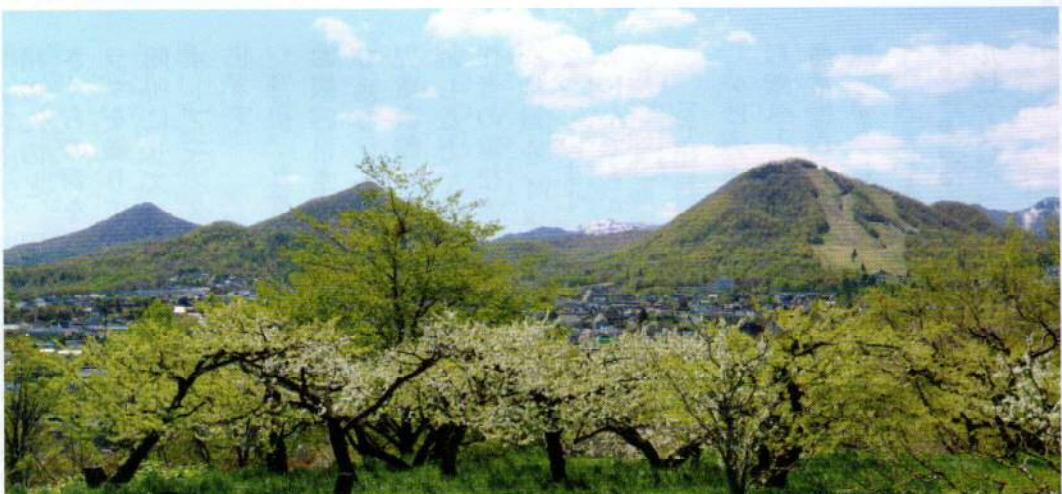
**富士見町内会 会長 飯盛 禮子**

自宅の花の写真がきっかけで色々な場所に足を運ぶようになりました。撮影の魅力は自然を肌で感じることです。皆さんに前回ご覧頂いた、北方自然教育園での早春の代かき、五十周年記念誌表紙、白川からサクランボの花と共に藤野三山を撮影しました。今回は、十五島公園内の白川橋からみた豊平川（上流）の様子を写したもので。藤野の自然も素晴らしいものがあります。



**藤野町内会連合会 広報誌 ルピナス  
五十周年記念誌**

**表紙を飾った写真紹介**



## コロナウイルス禍の中「花いっぽい運動」展開



コロナウイルス感染症禍の中、連合会環境部は令和二年度街づくりビジョン「花と緑、文化と福祉のまち藤野」を指針とした花いっぽい運動に取り組み、230ボランティアサポートプログラム、札幌市南区歩道美化事業を推進しました。コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながら三密を避けた植栽で、五月下旬から六月上旬にかけて、九町内会及び藤野商工会の協力を得て約一万株を国道、市道の花壇枠域に各種の花を植栽しました。



日照り時間が短い、極端な猛暑による自然界の環境の変化に、花壇枠の花たちも悪戦苦闘の様子をしていますが、道行く人たちの心を和ませていることだと思います。



編

集

後

記

## 沿線協の新しい紙芝居が誕生

定山渓沿線町内会連絡協議会（福士昭夫会長）から届いた話題を紹介します。

同協議会では、二〇一六年（平成二十八年）の「小金湯さくらの森」開園時に、桜の森を、札幌市民や道民の方々に広く知つてもらいたいと、紙芝居を作りましたが、その第二弾がこのほど完成しました。新しい紙芝居のタイトルは『のんのとオオムラサキ』。前作の『こうたと桜の森』では公園の成り立ちや地域の歴史が紹介されましたが、

今度の作品の主人公は桜の花妖精のんのと、国蝶オオムラサキ。さくらの森を舞台に昆虫たちがドラマを繰り広げます。アイヌ語が随所にリズミカルに盛り込まれ、オープニングには藤野太鼓も登場します。

当初、五月の「さくら祭り」でお披露目される予定でしたが、延び延びになっていました。今後、児童会館、ミニ児童会館や地域の催しなどで実演される予定です。作者の重松彌佐さんは「自然豊かな地域をイメージした紙芝居になっています。多くの方に観て、楽しんでもらいたいです」と語っていました。

◇

ルピナス一〇八号は、残念ながら減ページでの発行となりました。通常は六ページですが、四ページ。焦らず少しづつ、できることを広げていきたいと思います。（渡部 記）

ルピナス第一〇八号

令和二年十一月一日発行

発行人

吉田 健治

編集人

渡部 徹

印刷所

日光廣告株

脚本…重松彌佐さん  
画…高田弘子さん（恵庭在住）

連絡先 五九三一〇二五（高橋）